

研究構想シート		学校名	出雲市立第二中学校
		氏名	武田律子
A 研究主題 思考力を育てる授業づくり ～ねらいに向かうための『対話的』な学びの充実～			
B 研究の目的 対話を通じて生徒の思考が深まる授業をつくるための効果的な手立てを探る。			
C 子どもの実態 ・授業で学んだことを他教科の学習にも生かそうとする生徒の割合が多い。(R5全国及び市学力調査分析より) ・主体的に学習課題に取り組む生徒の割合が多い一方で、教師の解説を待つ傾向の生徒も一定数みられる。	E 手立て・内容(研究仮説) 「思考を深めるプロセス」を充実させれば、対話的な学びを通じて生徒が主体的に考えを深めることができるのではないか。 【思考を深めるプロセス】 個人思考(既習事項をもとに考える) ↓ 集団思考(考えを練り上げる、答え合わせで終わらせない)※教師の問い返しを工夫 ↓ 個人思考(学びを再構築、思考の深まりを実感)※ワークシートや板書を工夫	D めざす子どもの姿 課題を解決するため、身につけた知識・技能をもとに新しい考えを構築し、表現できる生徒	
F 検証方法 ○県学力調査における「思考力・判断力・表現力が問われる問題」の平均正答率及び無解答率を過年度と比較する。			
G 研究計画 ○教科や所属学年を解体した教員4人組の授業班を編成し、その班内で一人一授業公開を実施する。公開する授業は、既習事項を活用し、思考を練り上げてゴールにたどり着く課題を含むこととする。 ○今年度2回予定している学校訪問指導を全教員共通の研修会とし、授業公開及び授業研究を通して取組の成果と課題を確認する。			